

こうとう民報

2018年 8月号 No.165

江東区の職場・地域、議会などくらし・平和を守る運動をご紹介します。

発行 とうとう民報編集委員会
責任者 猪又 武夫
住所 江東区東陽2-3-5-203
電話3648-5155 FAX3648-5137
ホームページ
http://www.koto-minpo.jp/

核兵器のない世界へ



写真は、原水爆禁止世界大会に参加の江東区代表団のみなさん。

日本共産党区議団は8月7日、区長に対し、猛暑から区民の命を守るため、「熱中症対策についての緊急の申し入れ」を行いました。
7月中旬以降、連日激しい暑さに見舞われ、江東区内ではこの暑さで、屋外作業中のシルバー人材センターの会員や部活動中の生徒など218

労働組合や市民団体など6団体、15名で結成した原水爆禁止世界大会江東区代表団は8月4日、広島開会総会に参加しました。

世界と日本を変える 原水爆禁止世界大会

世界大会には、政府代表を含め23カ国、6千人が参加しました。

「核兵器による惨禍を繰り返すな」の実現へ、各国と被爆国が「核兵器禁止条約」の批准と発効で核廃絶を確かなものにしよと呼びかけました。

「平和のための戦争展」 日本兵が撮影した日中戦争の真実

日中友好協会江東支部と南砂団地9条の会が共催

戦後73年目の8月1〜7日まで、「平和のための戦争展」を江東文化センター展示ロビーで開催しました。

日中戦争開始直後に天津から上海、南京、徐州などを転戦した部隊の非公式の写真班として3千枚を撮影した村瀬守保氏の写真や戦時中の新聞、出征のぼり旗、戦意高揚切手や絵葉書などの展示とビデオに、1週間で約7百人が訪れました。

村瀬氏の写真50枚は、日本軍による虐殺があった南京の

人(8月5日現在)が熱中症で救急搬送されました。また特別区内における熱中症で亡くなった方は85人、その8割も使用していない人は43件も

共産党区議団が 熱中症対策について緊急申し入れ

以上が65歳以上の方でした。気象庁は熱中症予防情報を連日発表し、クーラーの使用も呼びかけていますが、屋内

江東代表団は、翌日には、健康友の会のみなさんから託された9千羽の千羽鶴を「原爆の子」像に捧げたあと分散会に参加しました。

参加者は、原水禁運動が分裂の時代から兵闘の時代に入ったことに感動したと口々に話していました。核兵器禁止条約に背を向ける安倍首相の退陣を求めて頑張りたいと決意も新たにしていました。

「平和のための戦争展」 日本兵が撮影した日中戦争の真実

「平和フェスタ」 新婦人江東支部



百枚以上の感想文には「民間人の犠牲者が多数あり、戦争の本性を改めて感じた」

「加害者の日本人としてムネ(心)が重い」「戦争への動きはダメ、安倍政権を続けさせてはダメだ」など、真剣に受け止めた思いが綴られています。

日本企業勤務の20代の中国男性が「日本人がこのような展示会をしていることに感激」と涙目で語りかけた、実行

の所得の低い高齢者や障がい者、乳幼児がいる世帯へ設置のための補助金を支給するとともに、クーラー利用に要する電気代を助成すること。また区内小中学校の体育館などにクーラーを設置することなどです。

7月22日、新日本婦人の会江東支部主催の平和フェスタが江東文化センターで開催され78名が参加しました。

戦争体験を語り継ぐコーナーでは、3歳の時に北朝鮮から帰国した辛い体験には、涙を誘われました。

また沖縄県知事選に関連してクイズが出題され、基地建設を強行する戦争大好き内閣を一刻も早く退陣させたいとの感想も出されました。

絵手紙、新聞ちぎり絵などの力作の展示も好評でした。

委員の一人は感動しています。同協会支部長の斉藤信行氏は「貴重な資料を保存していた方々の協力で実現しました。『平和がいいね』と題する会員の絵や切り絵なども含め、多くの区民にアピールできたと思います」と手ごたえを述べています。

「3000万人署名」 江東市民連合、9条の会 亀戸駅で宣伝・署名

亀戸駅北口で、8月5日に江東市民連合の呼びかけで「大島9条の会」や「下町亀戸9条の会」が取り組み、16人が参加。

また11日には「下町亀戸9条の会」が「安倍9条改憲NO!3000万人署名」の宣伝・署名活動を行い、23人が参加、25筆の署名が寄せられました。

騒動

熱中症による死者がでる危険な炎暑の予報が、暦の上では立秋を過ぎても続きました▼延長国会では「モリ・カケ疑惑」の幕引きがはかられ、過労死法ともいわれる「働き方改革」やカジノ法が強行採決。しかし、安倍首相がめざした9条改憲の発議はされませんでした。「戦争法」を発動するための自衛隊の明記を許さない3000万人署名は、1800万筆に▼

7月末に辺野古埋立て承認の撤回を表明した翁長県知事が8日に急逝との悲報。その遺志を継いで11日には、新基地を造らせない県民集会に7万人が結集しました。オール沖縄の熱いたたかいは県民投票条例の制定めざし、9月の地方選、特に30日投票も知事選へと続きます▼待望された核兵器禁止条約を採択した国連の事務総長は、原水爆禁止世界大会に参加し、被爆者や市民の希いを国際社会に橋渡しすると表明。この一年に条約署名は60カ国、批准は14カ国で、発効する50カ国に向かっているのに、唯一被爆国の首相は核の傘にしがみついているだけです▼73年目を迎える終戦記念日の8月です。江東区では、日中友好協会江東支部と南砂団地9条の会が江東文化センターで故村瀬守保氏の「南京大虐殺」などの現地での写真展、東京大空襲・戦災資料センターでは「みんなが学び、伝えよう!東京大空襲」が開催されました。

改訂 江東風土記抄 (1)

江東区を私たちが住む町ごとにその風土、産物、文化を調べます。

第1部 深川北西部



北斎「深川万年橋下」部分
富嶽三十六景

1. 新大橋・常盤

新大橋を渡ると、それまでの御船蔵前町、安宅町、西六間堀町、八名川町を「新大橋」。常磐町、西元町や新安宅町、東六間堀町、西森下町の一部を合併し「常盤」となりました。

清澄通りの裏道は、常盤1丁目と新大橋1・2丁目にかけて、船釘、簾、足袋、指物と軍配、漆、提灯、人力車の部品など、江東区の無形文化財に指定されている伝統工芸の職人の町です。また、31もの紙加工工場もこの地域に集中しています。

隅田川沿いには、江戸時代からの艀蔵や御舟蔵の跡地があり、当時の最大の軍艦安宅丸がつながれていました。安宅丸は100本のオールで漕ぐ3階建ての船で、その豪華さは日光東照宮と比べられる程で、江戸の名物となっていました。

松尾芭蕉の芭蕉庵は常盤1丁目にあり、今は芭蕉記念館がたてられ、「古池や蛙とびこむ水の音」の句碑があります。

尾形光琳の弟の陶芸家乾山もこのあたりに住んでいました。

1693(元禄6)年にかけてられた新大橋は、現在より百メートルほど下流にあって、1911(明治44)年に隅田川最古の鉄橋に改築されました。現在の橋は1977(昭和52)年にできたものです。小名木川の万年橋は江東区で最も古い橋で、1630(寛永7)年代にかけられて、広重「名所江戸百景」や北斎「富嶽三十六景」に描かれています。船番所もありました。

常盤2丁目の小名木川辺は、1830(天保元)年頃に住んでいた中村芝翫(4代目中村歌右衛門)に因んで「芝翫河岸」とよばれています。

新大橋3丁目は昔の八名川町で、八名川小学校にその名をとどめています。



空襲体験の伝承を聞く参加者

続いて「空襲体験のお話」と題して、東京大空襲体験伝承者の後藤亜沙子さんが、司会者の二瓶治代さんの生々しい体験―家族と逃げる途

中、総武線亀戸駅付近の小高い線路の上から、燃え尽きる商店街を眼下に焼き付けたこと、たくさん焼死体の下敷きになったが、隙間から奇跡的に助け出されたことなどを情感をこめて語り、親子連れの参加者が熱心に聞き入りました。



質問に応える吉良さん(左)とあぜ上さん

はじめに、西田ミヨ子元都議が、吉良さんの応援歌にと「夜明けの歌」など5曲を熱唱。激励に駆けつけたあぜ上三和子都議は挨拶で、追加工事をやっても食の

安全、安心が守られていない豊洲問題、受動禁煙対策での修正案、体育館の冷房設備など緊急の熱中症対策、子どもの医療費無料化を18歳まで拡大する条例提案など、党都議団の活動報告をしました。

- ★ 行事日程 ★
- 9月1日(土) 15時30分、江東市民連合3千万署名・宣伝 (門前仲町交差点)
- 9月2日(日) 13時、亀戸事件95周年追悼会 (赤門浄心寺)
- 9月2日(日) 14時30分・18時30分、「コスタリカの奇跡」上映会 (総合市民センター)
- 9月8日(土) 9時30分集合
- ◆大運動実行委員会団地署名 (東雲1・2丁目都営住宅)
- ◆下町亀戸9条の会 (亀戸駅北口)
- ◆直伝署名行動16時、憲法問題学習会18時30分、講師・鹿島裕輔弁護士(カメリアプラザ)
- 9月6日(日) 13時30分、「砂町の会発足50周年 型習い系流の会」講師・宇都宮健児 江東市民連合共同代表
- ◆砂町の会発足50周年 型習い系流の会 終了後15時40分、同館付近で署名行動
- 9月15日(土) 14時、羽田問題学習会 (江東文化センター)

*9月30日(日) 沖繩県知事選挙投票日

みんなで学び、伝えよう! 東京大空襲

東京大空襲・戦災資料センターが主催する毎年恒例の夏休み特別企画が、8月11日から15日まで、設立16年目を迎えた同センターで開かれました。この企画は江東区教育委員会が後援しています。

中学生30人ほどが参加、別会場の常設展示を見ながら、クイズも楽しんでく、大人60人、幼児・小・

吉良さん囲む会

「いのちを守るルールを」
7月28日、教育センターで「吉良よし子さんを囲んで女性のタベ」が開かれました。主催は新婦人江東支部内日本共産党後援会。台風12号が接近して強い風雨の中、55人の参加者であふれました。

江東区教育委員会
日本文教出版の道徳教科書採択
8月17日、区教育センター内で区教育委員会定例会が開かれました。37人から傍聴申し込みがあり、抽選の結果、20人が傍聴しました。会議では協議事項として「平成31年度中学校教科用図書採択について(特別の教科道徳)」が審議され、5人の教育委員全員一致で日本文教出版株式会社の教科書が採択されました。

体裁が適当であるか②評価に活用できるよう、ノートが工夫されているか③教師が指導しやすく、生徒が考えやすいか④いじめや情報モラルなど現代的課題が取り上げられているか⑤その他、江東区とのかかわりなどについて、どの教科書が良いか各教育委員が発言し、岩佐哲男教育長が取りまとめ、全員一致で日本文教出版の教科書が採択されました。